

まんだら通信

第127号 (通巻157号)

平成19年(2007)01月 佛誕2573年

295-0103 千葉県南房総市白浜町滝口1084
真言宗智山派 天神山 紫雲寺 高橋 龍渉
郵便振替 00120-2-43163 紫雲寺
TEL0470-38-4740/FAX 0470-30-5040
URL <http://www.awa.or.jp/home/ryusho/>
E-mail ryusho@awa.or.jp

こころの時代へ

何はともあれ穏やかな三ヶ日でした。どういうわけか、このお正月は多分生まれて初めての、ノンビリした気分でごすことが出来ました。

家内心尽くしのお節を食べて、ごろ寝をしながら、作家の五木寛之さんと塩野七生さんの対談など見て過ごしました。

五木さんは「昔から年寄り、今よりも前の時代のほうが良くて、明治のお年寄り」「徳川さんの頃はよかつた」といい、大正時代のお年寄りは明治を懐かしんで「この頃はなつとらん」といいます。私も年取ったからかも知れないけれど、それにしても昨日今日のニュースに取り上げられる、子殺しや親殺し、果てははじめを苦しめての子どもの自殺など聞くにつけ、今の日本人の有様は今までと全く違う危機的な状況だと思えますよ。」と。

私もお二人とほぼ同じ年なのでその



通りだと思えますが、何故こうなったかという点で少し違う考えを持つています。お二人は、戦後六〇年日本に平和が続いたから、みんながひ弱になつたとおっしゃいます。

これは少し違うのではないのでしょうか。江戸幕府の時代は二五〇年という、世界に誇れる戦争のない時代が続きましたし、ローマも『ローマの平和』(パックス・ロマーナ)といつて二〇〇年間、戦争がなかつたそうです。

戦争をしない時代を平和というなら、現在の日本はたつたの六〇年です。ひ弱になつた大きな原因は、もつと他にあるのではないのでしょうか。

敗戦のあと、目ぼしい都市は焼け野原。海外の領土や、復員の人達併せて数百万の人口が、狭い国土にいつぱんにひしめきました。国にお金がないから輸入も出来ず、食料統制で強制的に供出しなければならぬから、農家といえども自分の食糧に不自由し、空き地や土手にもサツマイモやカボチャを栽培しましたね。

嘘のような話ですが、国会議事堂前や新宿御苑は総て畑だったとか。

私が成田山で修行中の昭和二八年頃、上野の地下道には浮浪者がまだ沢山いました。

ともあれ、日本中働きに働きました。お陰様で、『経済大国』といわれるまでになりました。

然し……目に見えるもの『銭かね』に夢中になって、大きな誤算をしてしまいましたね。

『子育て』の失敗です。

辛いことに耐える力、人を思いやり自分に厳しくする心、こういつたことは日々の生活の中で親から子に身を以て

繰り返して伝えなければ、決して身に付きません。

明治維新から昭和の初めにかけて来日した欧米の人達が、口を揃えて言つたように(証拠は掃いて捨てるほどあります)小さな家に住みながら貧乏を恥とせず、節度あるやさしい人達が住む国ニッポンを取り戻した時が、本当の平和ではないのでしょうか。

折りに触れ、くどいように申し上げてきましたが、子育て現役のお父さんお母さん。お子さんはあなた達だけのものではありません。

日本に留まらず、世界の宝なのです。そして、やさしさと厳しさのバランスが大事です。『子育ては親育て』の言葉があるように、時々振り返って自分を見つめ直す時間を持ちましょう。

ご援助 有難うございます

市川 星野真知子様 館山 松苗禮子様 館山 川名チセ様 八王子 宮内栄三様
東京 高橋正夫様 富浦 目黒輝彦様 佐倉 薮崎恭子様 小千谷 慈眼寺様 館山
山 早川正夫様 船橋 早川久夫様 富津 田中律子様 相浜 鈴木はつえ様
東京 浅沼百合子様 成田 石橋行与様 白浜 満願寺様 井上文子様 佐倉 大
森郁子様 龍岡 本橋理一様 東京 高橋義夫様 横須賀 吉田松夫様 乙浜 安
田幸子様 保田秀子様 神余 加藤石油様 白浜 岩澤梅子様 館山 山口角太
郎様 龍岡 本橋川端様 砂取 金房保様 加藤和子様 白浜 由木尾晋様 館山
山川紀代様 根本 古谷戴子様 千葉 古谷廣司様。

いつも書くことが同じで気恥ずかしいのですが、切手や現金でメールで電話や年賀状で励ましを戴きました。いつも申し上げるのですが、読んで戴いている・それだけで『まんだら通信』を続けるエネルギーになります。匿名の方など、今回も有難うございました。

- ◆七草がゆも済んで、お正月気分も抜けました。一々お礼を申し上げませんでした。年賀状も沢山戴きました。有難うございます。今年も宜しくお願ひ申し上げます。
- ◆柄にもなく、年明けからお説教めいたことを書きました。房州は“あばら骨が三本足りない”人ばかりだから大丈夫と書いていても、民生委員などしていると認知症のお年寄りへの家庭内暴力や、学校での弱いものいじめなどの話が聞こえてきます。それらを見聞きするにつけ、矢張り子育ては大事ななと思ってしまうのです。
- ◆昨年暮れ、1期4年と数ヶ月勤めた教区長を目出度く退任しました。月並な言い方ですが、お世話になったり迷惑をかけたりしましたが、皆さまの支えがあつて出来たこと。有難うございました。
- ◆インドの北、ヒマラヤの麓にブータンという小さな国があります。面積47,000平方キロ、人口218万人

(これは、インターネット上の百科事典ウィキペディアの数字です。別の半ば公式のホームページ <http://www.iip.co.jp/bhutan/> (には60万人)といひますから千葉県の約5倍の大きさのところに、3割か1割の人が暮している勘定になりますね。この国は仏教を国教にしていますが、『経済発展よりも心の豊かな国民を』が国策だそうです。日本のマスコミは殆ど話題にしません、注目してたい国です。

◆今月の野草はタンポポです。キク科というだけあって端正な花卉が特徴ですね。雪国では春の花でしょうが、この辺りでは四季を通じて咲いている何の変哲もない野草です。色も黄色が当たり前と思っていたら、関西から西に行くほど、白い花が当たり前になるのだそうです。

07/01/08 龍渉



余滴